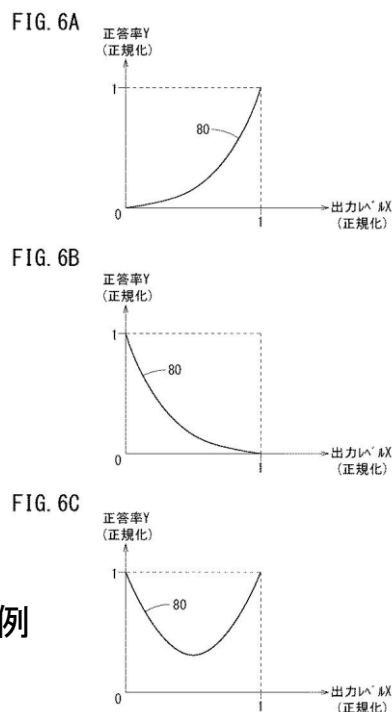


発明の名称	物品判定装置、システム、学習方法及びプログラム		
出願人/権利人	株式会社RUTILEA	発明者	矢野 貴文
出願日	平成29年6月26日	出願番号	2017-124003
公開番号	2019-8574	特許番号	6744633
法的状態	登録中		

## 代表図



## 正答率曲線の作成例

80 正答率曲線

## 発明の概要

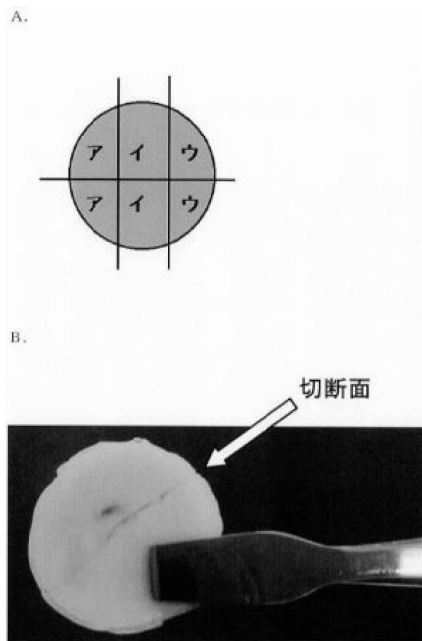
学習器を用いて物品を判定する物品判定装置、システム、方法及びプログラム

## 特徴

物品の画像特徴量を入力とし、物品の一致度を示す多値や連続値を出力とする学習器と、学習データ群を用いて学習器に対する学習処理を実行する学習処理部を備えている。学習処理部は、学習データ群の全部又は一部を母集団とする、学習器の出力レベルに対する出力結果の正答率の関係を示す正答率曲線を作成する。正答率曲線が収束条件を満たす場合に学習処理を終了する仕組みである。学習器は、統計的規則性が高い判定特性に基づいた物品の判定処理を実行できる。これにより、真贋判定を含む緻密かつ高精度な物品判定を行える。

発明の名称	ゲルの製造方法		
出願人/権利人	株式会社シクロケムバイオ	発明者	寺尾 啓二、木村 円香、石田 善行
出願日	平成31年1月31日	出願番号	2019-015251
公開番号	2020-122090	特許番号	—
法的状態	出願中		

## 代表図



A. ハイドロゲル又は比較品における自己修復能の検討方法

B. 切断面におけるハイドロゲルの自己修復能

## 発明の概要

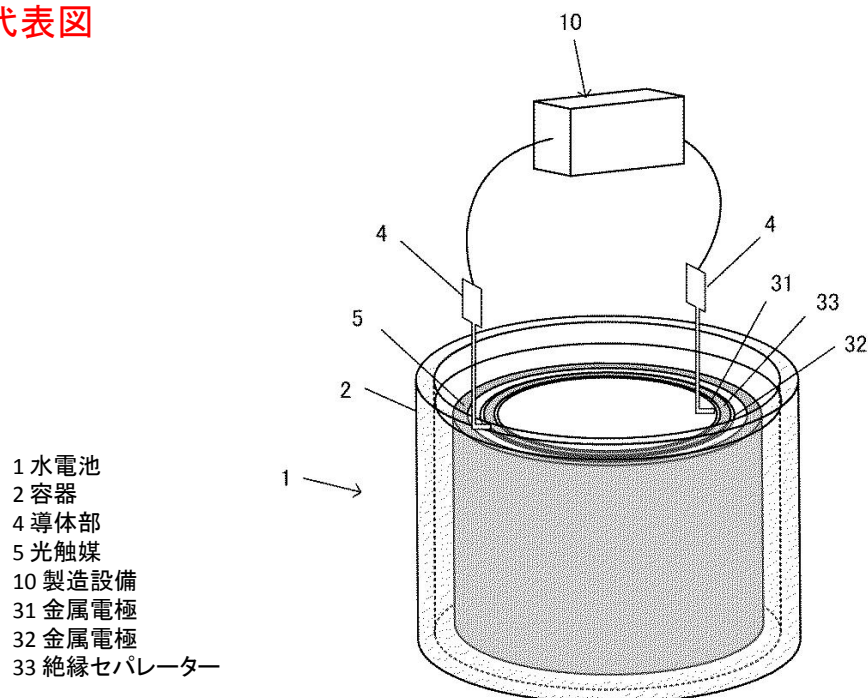
自己修復能を有するハイドロゲルを簡便かつ安全に製造する方法

## 特徴

自己修復能を有する高分子材料をより簡便で安全に製造できる方法である。ホスト基及びゲスト基をアミン系ポリマーに付加させる工程を含むことにより、自己修復能を有するハイドロゲルを簡便で安全に製造できる。自己修復能とは、摩擦や衝撃等によりゲルに穴や切断面が生じても再結合して元通りに戻る能力のことである。例えば、切断されたゲルの切断面を水で濡らしたり後に切断された箇所を密着させて室温で静置することなどで発揮できる。着脱可能な接着剤、塗料、コーティングフィルム、ハードコート剤の代替、衝撃吸収剤等の様々な用途に使用できる。

発明の名称	水電池、水電池用活性化水の製造方法、水電池の連続使用方法		
出願人/権利人	株式会社アイティー技研	発明者	今中 忠行、竹本 正
出願日	平成31年2月1日	出願番号	2019-016758
公開番号	2020-126712	特許番号	—
法的状態	出願中		

## 代表図



## 発明の概要

光触媒によって予め活性化された活性化水を用いる水電池

## 特徴

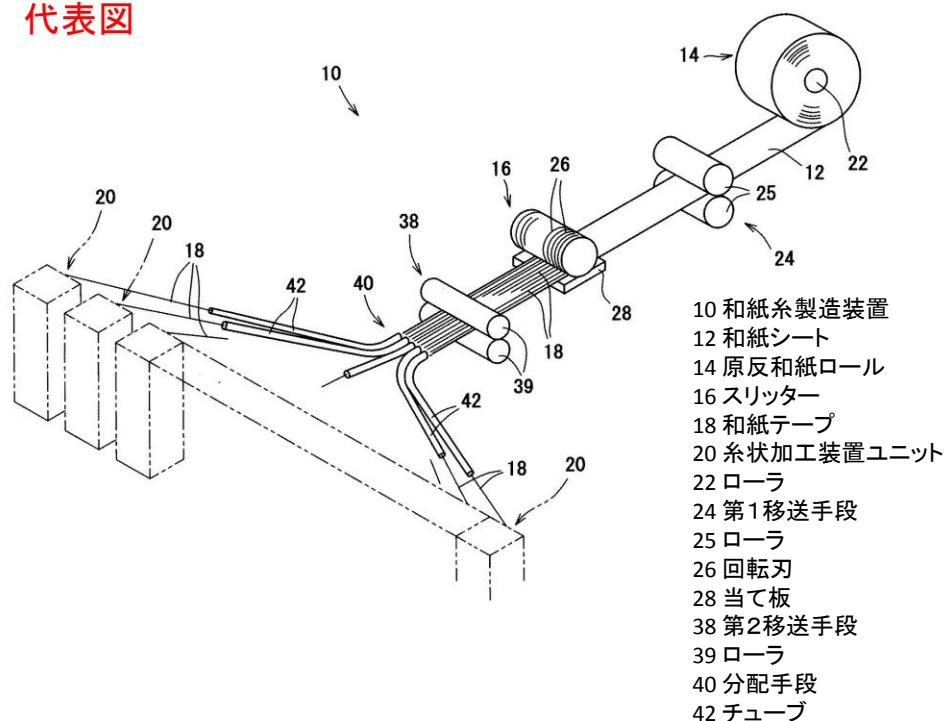
容器の内側で互いに接触しないように配置された一対の金属電極と、一対の金属電極を負荷回路に接続するための導体部とを備えている。容器には、弱アルカリ性で不純物含有率が純水相当に低い活性化水が一対の金属電極を水没させた状態で蓄えられている。活性化水の製造方法は、水を光照射されている光触媒に接触させ、その後逆浸膜によって不純物除去する。製造された活性化水は定期的に補水される。本発明による水電池は構造が簡単であり、酸水溶液等を用いないので、安価に提供できる。人体や環境に対する安全性も高く、連続的かつ半永久的に使用できる。

## 業務用機械

## 和紙テープから無駄なく和紙糸を製造する装置

発明の名称	和紙糸製造装置及び和紙糸製造方法		
出願人/権利人	株式会社ITOI生活文化研究所	発明者	糸井 徹
出願日	平成31年2月4日	出願番号	2019-017947
公開番号	2020-125554	特許番号	6577684
法的状態	登録中		

## 代表図



## 発明の概要

省力化を図り、安価な和紙糸を量産できる  
和紙糸製造装置

## 特徴

原反和紙ロールから繰り出された和紙シートはスリッターによってスリットされ、得られた複数の和紙テープはチューブと空気流通手段を備えた分配手段でそれぞれ複数の糸状加工装置ユニットに分配される。空気流通手段によりそれぞれのチューブ内を和紙テープが空気の流に乗って糸状加工装置ユニットに運ばれるので、ほとんどの和紙テープは切れることはない。したがって、ほとんどの和紙テープが和紙糸に加工されることになる。この一連の作業が、原反和紙ロールの和紙シートがなくなるまで行われる。最短の時間で製造でき、製造コストを大幅に低下させられる。

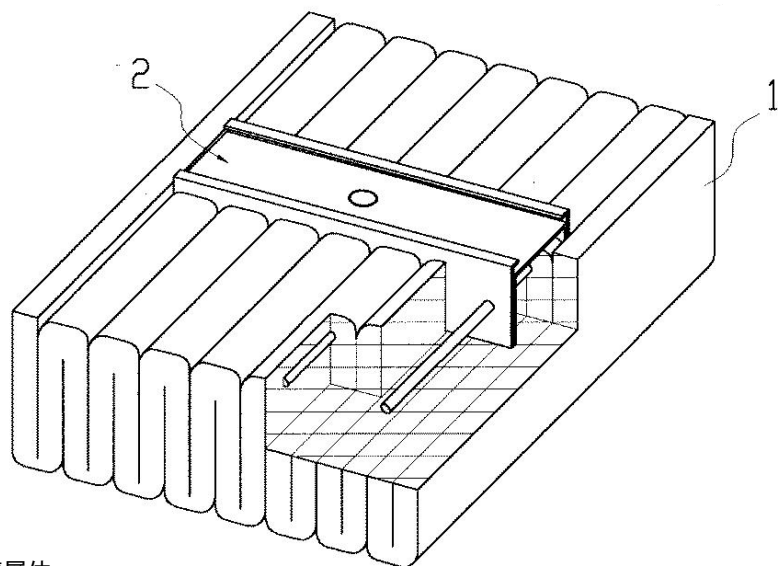
関連分野

紙類、繊維

# ガラス・セラミック 安全かつ自在に取り付けられるセラミックファイバーブロック

発明の名称	セラミックファイバーブロック及びその製造方法		
出願人/権利人	イソライト工業株式会社	発明者	上道 健太郎、川崎 修、末吉 篤
出願日	平成31年2月6日	出願番号	2019-019770
公開番号	2020-125890	特許番号	6768237
法的状態	登録中		

## 代表図



1 積層体  
2 取付金具

## 発明の概要

安全かつ簡易に取り付けることが可能なセラミックファイバーブロック

## 特徴

本発明のセラミックファイバーブロックは、長尺状のセラミックファイバーブランケットが連続的に折り畳まれた略直方体形状の積層体と、積層体を炉壁に固定する取付金具から構成される。この積層体は、長尺状のセラミックファイバーブランケットの長手方向の両端部がいずれも炉壁側に位置するように折り畳むと、使用しているうちに徐々に目地が開いて断熱性能が低下する目地開きが起こりにくくなる。簡易に作製できるうえ、従来のセラミックファイバーブロックのように取付金具に鋭利な突起物を用いないので、危険な作業を伴うことなく安全に作業を行える。

関連分野

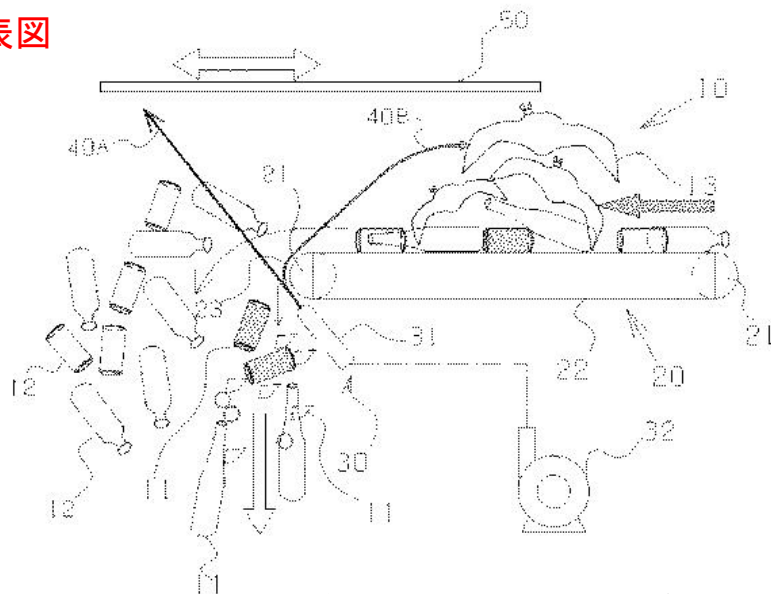
建設・土木

## 業務用機械

## ゴミを重量別に選別できる風力式選別装置

発明の名称	風力式選別装置		
出願人/権利人	大阪エヌ・イー・ディー・マシンリー株式会社	発明者	伊佐 眞也、山田 靖
出願日	令和1年12月26日	出願番号	2019-235503
公開番号	—	特許番号	6745574
法的状態	登録中		

## 代表図



- 10 混合ゴミ 11 重量物(スチール缶、空きビン、カレット等)  
 12 軽量物(ペットボトル、アルミ缶等) 13 超軽量物(袋ゴミ等)  
 20 ベルトコンベア 21 プーリ 22 無端ベルト 23 ベルト転回部  
 30 気体噴出手段 31 気体噴出ノズル 32 プロア  
 40A 前方主流 40B 後方副流 50 遮蔽板

## 発明の概要

混合ゴミを、風力を利用して重量別に選別する風力式選別装置

## 特徴

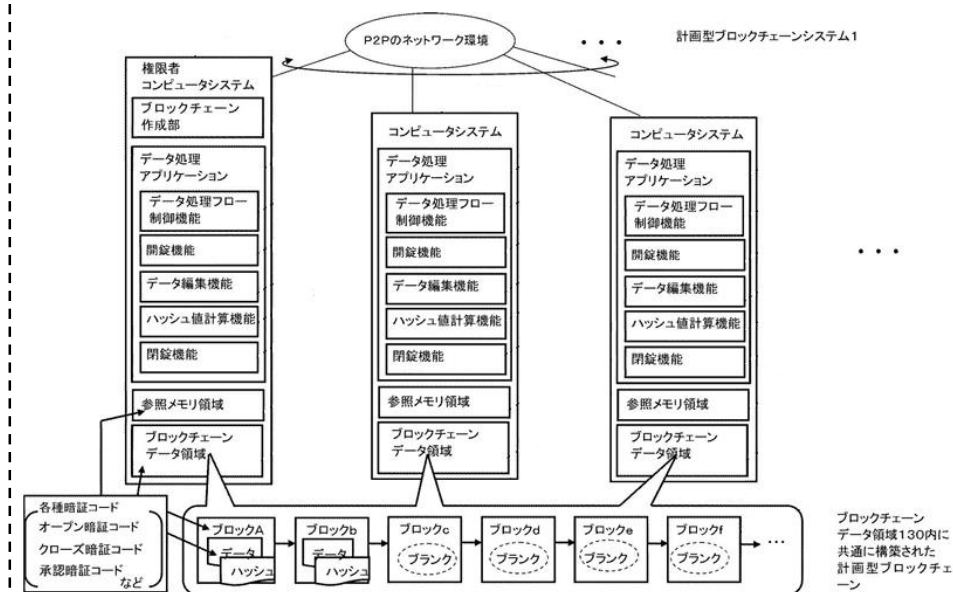
混合ゴミをベルトコンベアから前方へ次々と排出する時、混合ゴミを前方へ飛散させるように、ゴミ排出側におけるベルト転回部より下からベルト転回部に接する状態で斜め上方へ気体が噴出される。一種の巻き上げ風なので、ベルトコンベアから排出される混合ゴミに対して、前方主流より先に衝突する。しかも、この後方副流は、前方主流に比べて弱いため、ペットボトルやアルミ缶を吹き飛ばすほどの威力はない。混合ゴミ中の袋ゴミが、他のゴミに先行して後方へ吹き飛ばされ、他のゴミから分別される。予め超軽量物を除去していくので、重量物及び軽量物の分別が促進される。

関連分野

電気機械、廃棄物処理

発明の名称	ブロックチェーンシステムおよびブロックチェーンシステムを利用したデータ取引システム		
出願人/権利人	松永 力	発明者	松永 力
出願日	令和1年10月22日	出願番号	2020-505944
公開番号	—	特許番号	6743321
法的状態	登録中		

## 代表図



## 発明の概要

個人や企業の諸活動に関する情報を管理するデータ管理システム

## 特徴

ブロックチェーン技術を改善し、ブロック内の取引データの正当性の判定処理と確定処理を簡易かつ高いセキュリティで実行する。編集データを編集できる権限確認や編集内容を確定できる権限確認というセキュリティ設定を施し、過誤処理や、事実とは異なる不正処理などを効果的に低減したブロックチェーンシステムである。ブロック内の編集データの正当性の確認処理を担当できる正当権限があるコンピュータシステムか否かがクローズ暗証コードにより確認でき、従来のブロックチェーンシステムで大きな負荷となっていた正当性の確認処理が確実かつ簡単に行える。